

ひがし北海道を 歩く旅の道とは

ひがし北海道に計画中の歩く旅の道(トレイル)は、日本を代表する3つの国立公園をつなぎます。どこまでも広大な湿原、路地帯や畑作地帯、国内有数のカルデラ湖。地球の鼓動を感じる火山。多くの特徴的な山々や豊かな海など、多様な景観を楽しめます。縄文時代から北海道開拓へと続く人々の暮らしや歴史文化があり、そこに住まう動物や人々の営みとの出会いがあります。太平洋、オホーツク海、根室海峡という三つの海を繋いで、中央に連なる火山帯を越え、特色の異なるエリアをひとつずつ数日間かけて歩きます。ひがし北海道の大きさを体感できる、全長350kmを越える、長く歩く旅ができる魅力に富んだロングトレイルです。

2024年10月開通予定



知床国立公園

流水がつなぐ豊かな生態系、 火山が生んだ山々と 海岸断崖が織りなす雄大な景観

世界自然遺産にも登録されている知床国立公園は、火山活動や流水などによって形成された美しく雄大な景観と、野生生物の豊かさに特徴づけられます。特にヒグマやシカなどの大型哺乳類や、絶滅の恐れがある大型の猛禽類も多く生息し、それらを頂点として、様々な野生動物が相互に関係しあい、色濃く息づいています。



参考: <https://www.env.go.jp/park/shiretoko/point/index.html>

女満別空港

阿寒摩周国立公園

日本最大のカルデラ地形、火山・森・湖が織りなす広大な景観

北海道東部に位置する阿寒摩周国立公園の基盤は、千島火山帯の活動によってできた阿寒・摩周・摩周の3つのカルデラ地形です。北海道で最も歴史のある国立公園の一つで、公園区域の大部分が亜寒帯性の針葉樹林を中心とする天然林に被われ、国立公園の中でも原始的な姿を有しているといわれています。



参考: <https://www.env.go.jp/park/akan/point/index.html>

たんちょう釧路空港

釧路湿原国立公園

日本最大の湿原と 壮大な蛇行河川、それを育む森

日本で最初のラムサール条約登録湿地であり、湿原を中心とする初の国立公園です。北海道東部を流れる釧路川とその支流を辿り日本最大の釧路湿原及び湿原を取り囲む丘陵地からなります。手つかずの広大な水平的景観はこの地の何よりの魅力です。また、国の特別天然記念物のタンチョウをはじめ多くの鳥獣の貴重な生息地となっています。



参考: <https://www.env.go.jp/park/kushiro/point/index.html>

原点に立ち返る旅路、
雄大で貴重な
自然とともに歩く！

【知床】世界自然遺産知床の入り口・・・名峰斜里岳を全身に感じながら来運神社まで（開運の旅）歩く

清里町札弦駅から来運神社まで4時間のショートトレイル=15.7km

知床半島の付け根に美しいすそ野を広げてそびえる百名山斜里岳を望みながら歩くコース。町営牧場を通り舗装路へ、斜里岳がどんどん迫ってきます。山頂から尖った尾根の形が、刻々と変わっていきます。小麦・ジャガイモなどの畑に囲まれながら突き進んでいくとゴールの来運神社に到着します。来運神社には斜里岳の伏流水がこんこんと湧いていますので、一口飲めば心身ともに癒やされはらずです。



【阿寒摩周】日本最大のカルデラ・・・10万年程前の大噴火に思いを寄せ外輪（浪漫の旅）を歩く

津別峠展望台から美幌峠まで4時間のショートトレイル=10.1km

日本最大のカルデラ屈斜路湖の外輪山を歩くコース。アップダウンのある比較的体力が必要なコースです。津別峠展望台からすぐ深い森になり、その森を抜けると突然ビューパノラマが広がります。後ろを振り返ると雌阿寒、阿寒富士も見えます。天気が良ければ北側に大雪山系も見ることが出来ます。美幌峠に近づくにつれ視界が広がり遮るものがない丘に出ると、まさに屈斜路湖を独り占めできる場所がクライマックスになります。



【釧路湿原】日本最大の湿原・・・世界でも稀な無数の生命を育む特別なところ。日本の特別天然記念物タンチョウの生息地でもある場所（感動の旅）を歩く

細岡展望台から達古武キャンプ場まで3時間30分のショートトレイル=11.2 km

多様な動植物を育む日本最大の湿原を歩くコース。達古武キャンプ場からスタートです。達古武湖をぐるりと歩きます。ここには水鳥が多く生息しています。湖を越えると、釧路川が見えてきます。線路（釧網線）と釧路川のあいだを歩いていると、カヌーが下ってきたり、オジロワシやタンチョウも見られるかもしれません。川を過ぎ、坂を登ると細岡展望台に到着します。ここからの眺めはまさに釧路湿原そのものです。

